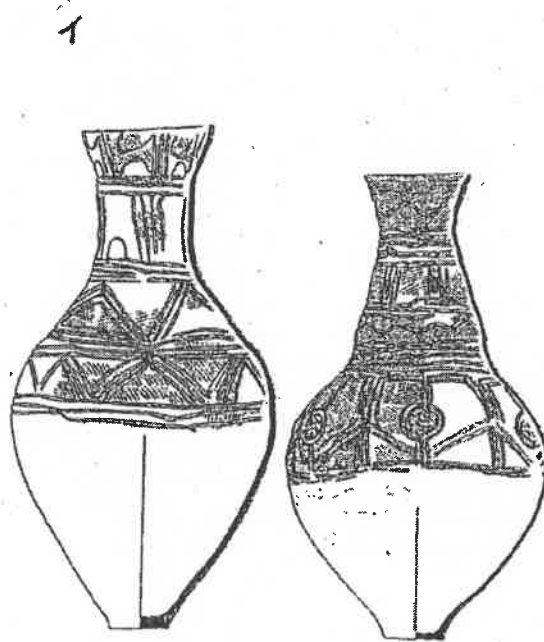
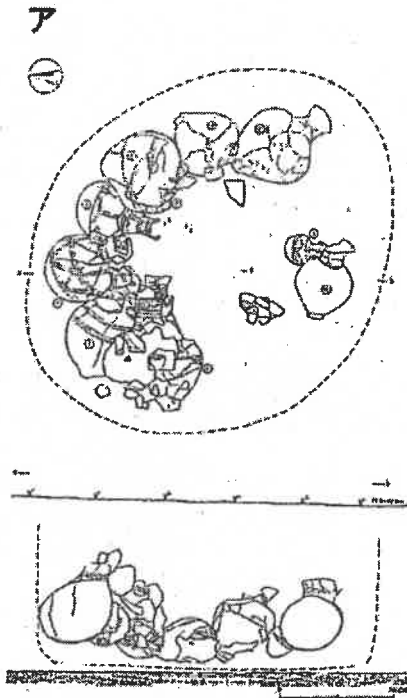


下の図は弥生時代の遺構と土器である。

- ① 遺構アの名称を答えなさい。
- ② 遺構アが多数発見され、土器イが出土している栃木県佐野市に所在する遺跡の名称を答えなさい。



- 正答
- ① 再葬墓（壺棺再葬墓、土器棺再葬墓でも正解）
 - ② 出流原遺跡

R6 (2024) 採用選考考査〔埋蔵文化財発掘調査技術者〕－2

次の用語をすべて用いて、これらについての解説文を250字以内で書きなさい。

岩宿 関東ローム層 AT 野川

正答 旧石器時代の研究は、岩宿遺跡で関東ローム層から石器が出土することが判明して始められた。関東ローム層は富士山などからの降下火山灰に成因が求められる。また、降灰が広域にまたがることから鍵層として使用される代表的なテフラとして、鹿児島県の始良カルデラから噴出したAT層があり、各地域での時代を比較するのに利用されている。南関東では野川流域などの調査によって石器群の変遷の研究が行われ、層位学的検討に基づいた精緻な編年が提示されている。現在ではこのXb層の石器が確実な最古の石器といわれる。